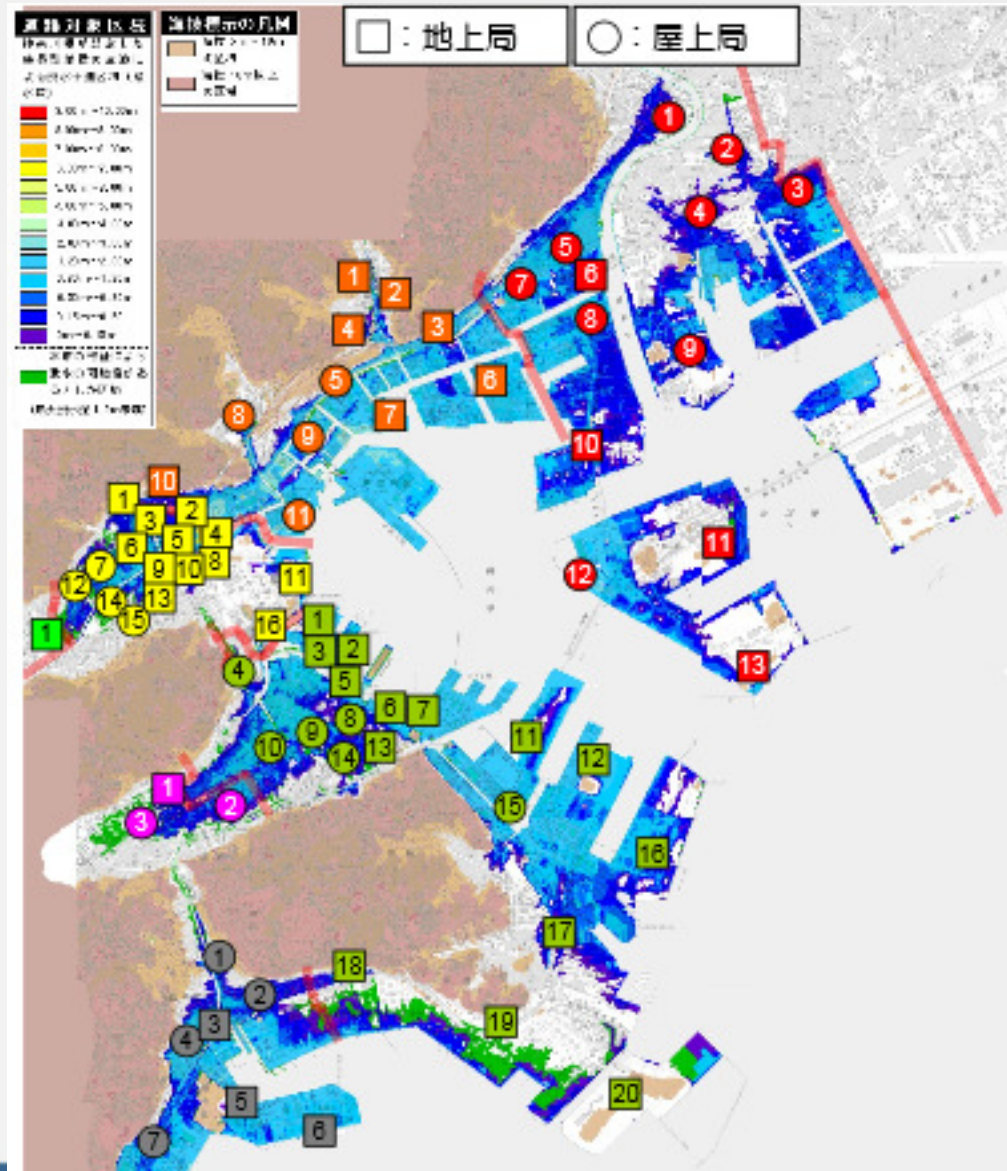


横浜市の安全対策【津波警報伝達システム（89カ所）】

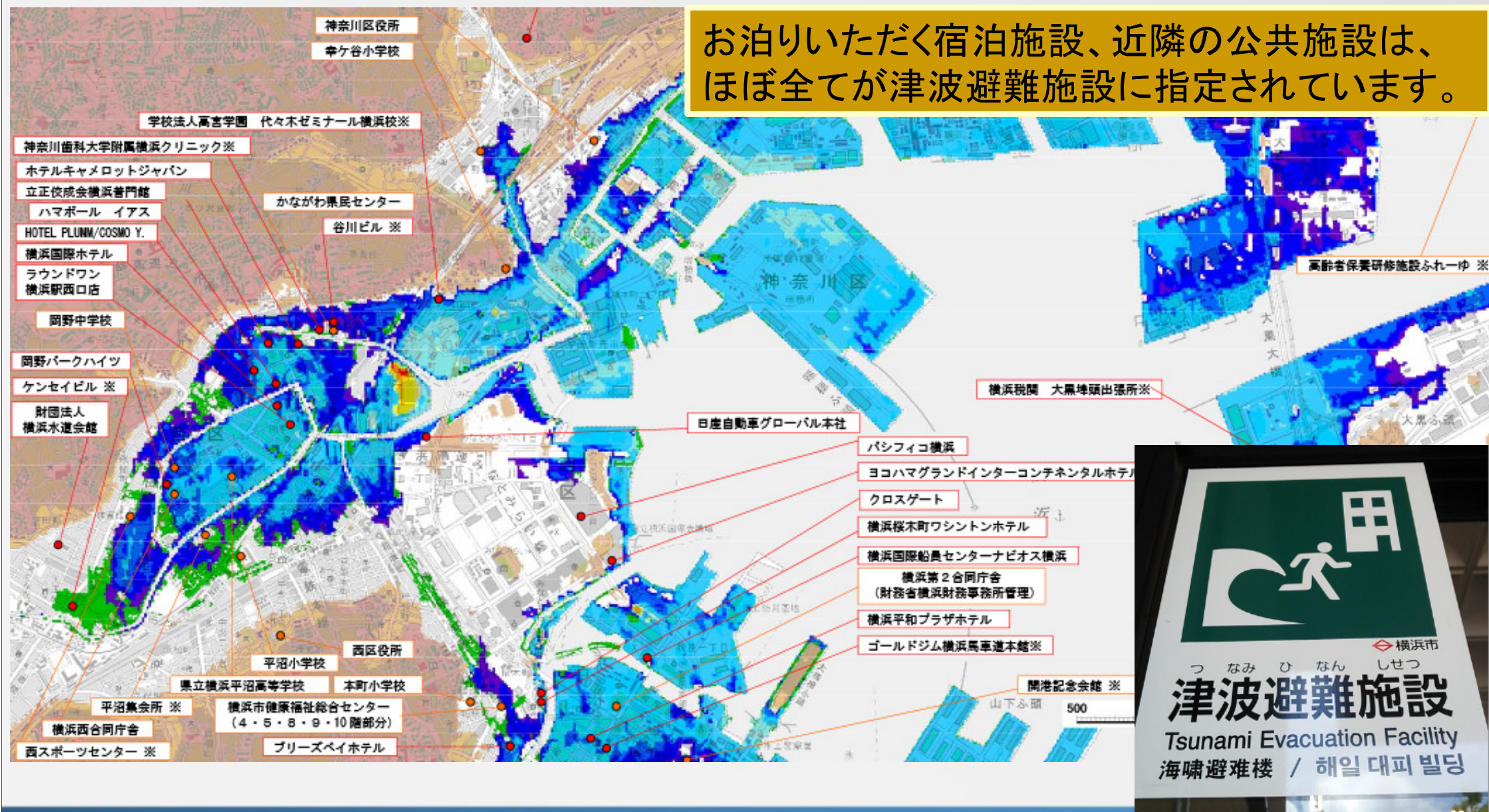
津波浸水予測区域にスピーカーを使って避難を呼びかける**津波警報伝達システム**を設置



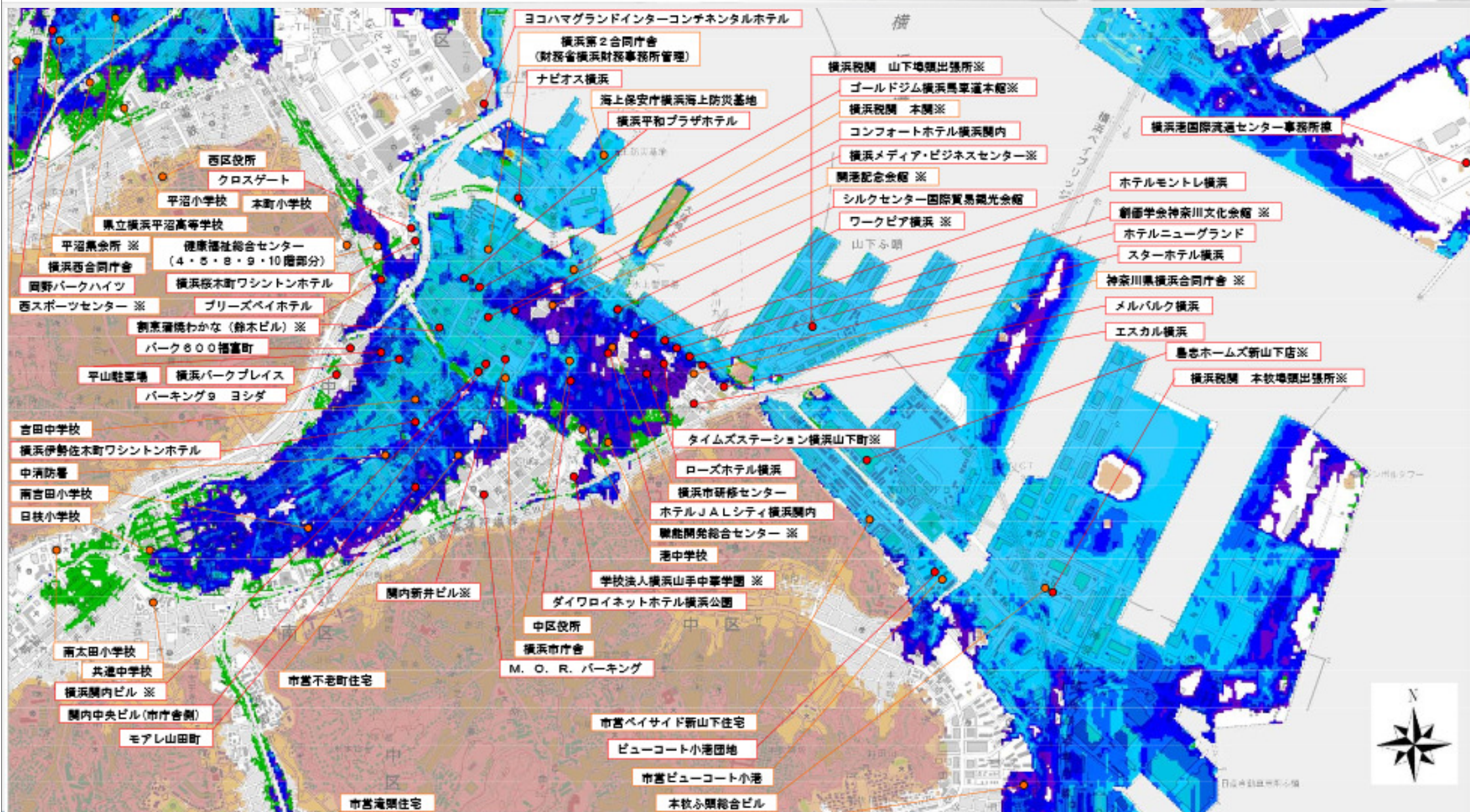
鶴見区				
1 鶴見区総合庁舎	2 鶴田中学校	3 高砂中学校	4 汐入小学校	5 主税小学校
6 主税西ノ浜緑地公園	7 市営主税住宅	8 中央卸売市場食肉市場	9 北郷第二水再生センター	10 大黒町第一公園
11 大黒町T-1緑地	12 鶴見水上消防出張所	13 大黒町海づり公園		
神奈川区				
1 入江川公園	2 入江二丁目公園	3 新子安駅駐輪場付近	4 旧七差町手洗の遊び場	5 鶴巻消防出張所
6 宝町付近	7 出田町公園緑地	8 神奈川区総合庁舎	9 神奈川水再生センター	10 鶴巻町交差点付近
11 中央卸売市場本場				
西区				
1 鶴巻高橋駅西口出口付近	2 高島二丁目東口第2駐輪場	3 内海橋付近	4 横浜駅東口バス・バス停付近	5 相鉄口交番付近
6 岡野町交差点付近	7 岡野中学校	8 高島一丁目西側橋	9 平沼橋付近	10 梁山橋付近
11 鶴巻パーク	12 西スポーツセンター	13 平沼一丁目付近	14 平沼さくらが公園	15 平沼小学校
16 日本丸ビル前				
中区				
1 山手町公園	2 赤レンガパーク	3 鶴巻パーク	4 横浜市健康福祉総合センター	5 泉の森パーク
6 山下公園	7 山下公園	8 横浜市新館センター	9 横浜市政会	10 中野町
11 本校の隣A校舎	12 本校の隣B校舎	13 山下公園	14 みなと総合高等学校	15 みなと市十字路
16 本校の隣C校舎	17 本校の隣D校舎	18 横浜交番前	19 本校の隣公園	20 本校の隣

横浜市の安全対策【津波避難施設(西区)】

お泊りいただく宿泊施設、近隣の公共施設は、
ほぼ全てが津波避難施設に指定されています。



横浜市の安全対策【津波避難施設(中区)】



『みなとみらい21』エリアの安全対策

1983(昭和58)年に事業着手したみなとみらい21地区は、開発当初より計画的かつ高度なインフラ整備と環境技術の積極的な導入等を推進し、災害に強く環境を重視した街づくりを進めてきました



災害時にも対応できる防災関連施設

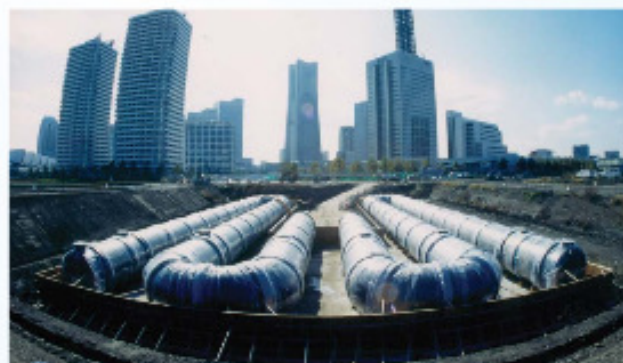


内貿(耐震)バース



災害の発生時には、海・空からの緊急救援物資輸送などの役割を担います。(5,000 tクラスの大型船2隻が接岸可能です)

災害用地下給水タンク



みなとみらい21地区内の公園下に、耐震型循環式地下貯水槽が4基設置されており、災害時には50万人分の飲料水を3日分供給できます。

横浜海上防災基地



東京湾及び関東一円の海上防災拠点です。災害の発生時には、被災者の救援活動などの海上災害応急対策拠点として機能します。

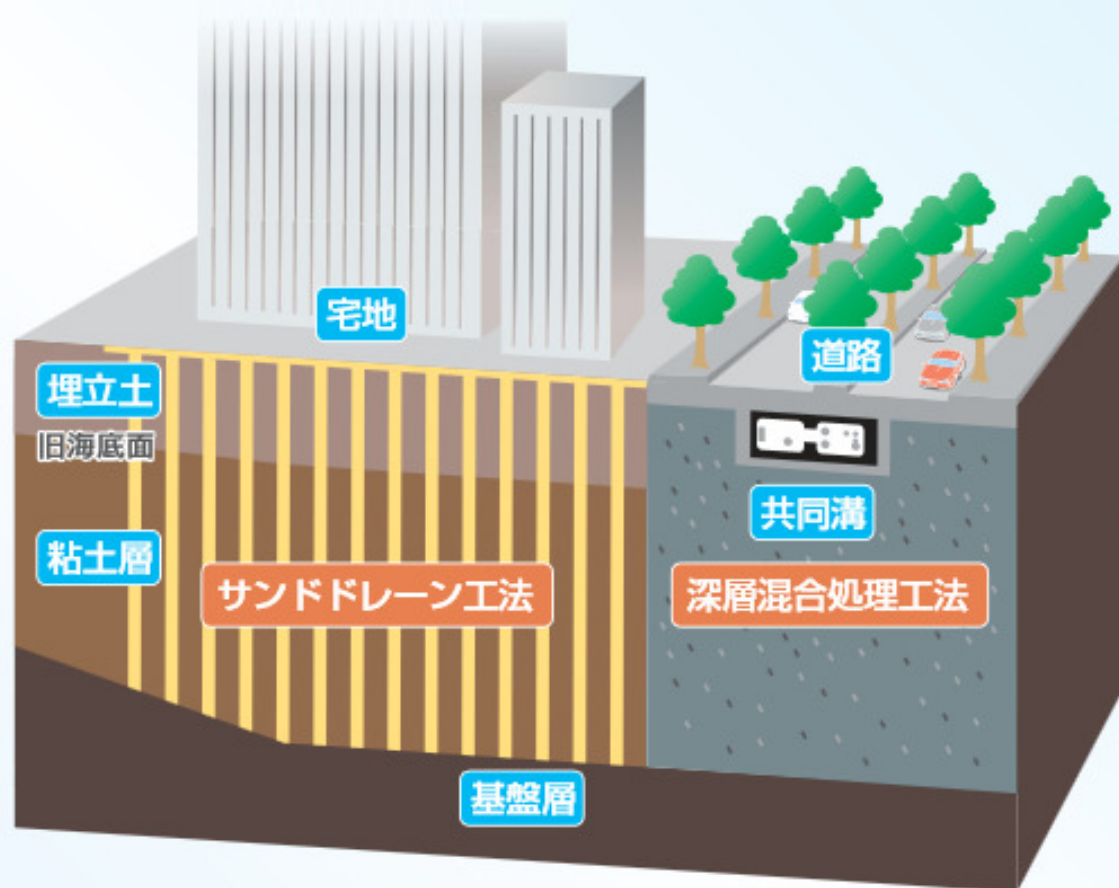
『みなとみらい21』エリアの安全対策



液状化、沈下対策

都市の基盤となる道路や宅地の造成について、みなとみらい21中央地区の埋立地等には地震災害や地盤沈下などを考慮し、各種地盤改良を実施しています。また、埋立て用材については、液状化しにくい（粒径の異なる）土砂を用いるほか、以下に示す地盤改良を実施しています。

●2011（平成23）年3月11日の東北地方太平洋沖地震においても、みなとみらい21地区では液状化の被害はありませんでした。



宅地の地盤改良 [サンドドレーン工法]

軟弱地盤に一定の間隔で「砂の杭」を地中につくり、地盤沈下の原因となる地中の水を砂杭を通じて短期間で排除させ、将来の沈下を抑制する工法です。

道路の地盤改良 [深層混合処理工法]

軟弱な地盤にセメントなどの改良材を混ぜ合わせることによって、地盤を固める工法です。

『みなとみらい21』エリアの安全対策



みなとみらい21地区合同防災訓練等の実施



みなとみらい21地区では、防災に関する知識を身につけるとともに、災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めることを目的として、1995(平成7)年8月から、多くの就業者や住民等が参加する地区内では最大規模の「みなとみらい21地区合同防災訓練」や、「救命救急講習」等を実施しています。

<みなとみらい21地区合同防災訓練>



<救命救急講習>



『みなとみらい21』エリアの安全対策



みなとみらい21地区では、地下空間の有効利用、都市災害の防止及び都市景観の向上を図るため、供給処理施設や電線類などの都市インフラを収容する共同溝を整備しています。

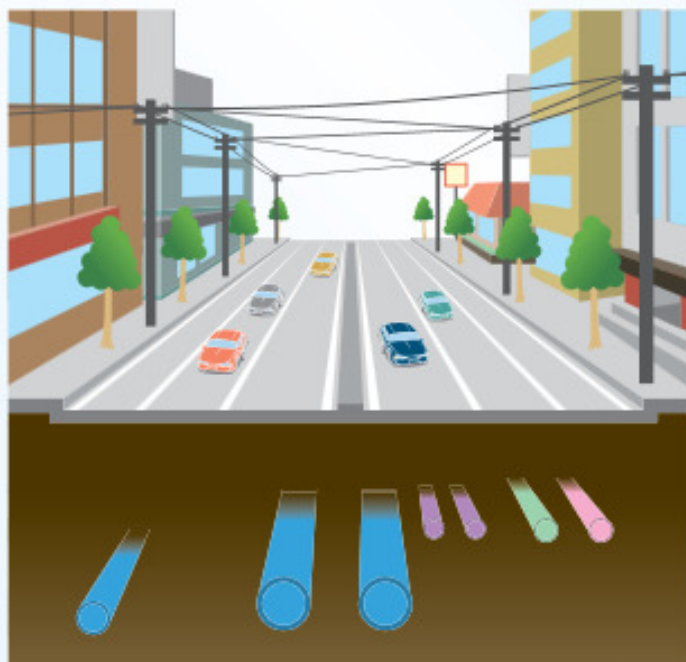
みなとみらい21中央地区では、電力、通信、上水、ガス、地域冷暖房、CATV等の都市システムについて、共同溝から接続して利用できます。



共同溝内部

- 1 地上に電柱や電線がないため、都市景観が向上し、さらに地震等の災害時には、電柱の倒壊・電線の切断や交通遮断による二次災害を防ぐことができます。
- 2 インフラのメンテナンスが容易で、インフラの改修等にもなう道路の掘り返しが発生しないことにより、工事による渋滞や不要な廃棄物を出すことがありません。

直埋設・架空線方式



共同溝が
整備されると

共同溝方式

